

## 1 学期始業式校長講話

令和3年4月6日

みなさんこんにちは。年度が明け、4月になり新しい学期のスタートです。この体育館の横の中庭に行くと桜が満開で、すでに春爛漫の蓼科高校です。

まずは、3年生、2年生、それぞれ進級おめでとうございます。

3年生は高校生活最後の年になります。高校生活最後の強歩大会、高校生活最後のポプラ祭、といった具合に、一つ一つの行事に「高校生活最後の」という前置きがつきます。また、今年度中には、それぞれ高校卒業後の進路先が決定します。3年の1学期の成績や出席状況は特に大事です。1年生・2年生のときの成績や出席状況はもはや変えることはできませんが、これから始まる新年度の成績や出席状況は努力次第でどうにでもなります。希望する進路を実現できるかどうか。もちろん教職員も全力でサポートしますが、試験や面接を代わりに受けることはできませんから、一番大切なのは皆さんのやる気です。ぜひ、一人ひとり自分の努力で進路希望を実現してほしいと願っています。

2年生は、クラスも変わりましたね。前向きな気持ちで心を一新してみましょう。2年生はつい1年前に入学したと思ったら、多くの部活動では、早ければ5月中に3年生が引退し、その後を引き継いで、最上級学年として新入生を引っ張っていかねばなりません。最大行事の修学旅行もあります。秋には生徒会を引き継ぎます。その頃には、3年に向けた準備も本格化します。中だるみの学年などと言われて時間があるような気がしているかもしれませんが、意外と時間が少ない学年です。心して毎日の生活を送ってください。

新型コロナの状況も予断を許しませんが、この1年で経験上わかってきたことがあります。それは日ごろの感染症対策をしっかり行い行動すれば、必要以上に恐れることはないということです。みなさんは、落ち着いて行動し学校生活を送ってください。

さて、皆さんは今年度の目標は決めましたか？今まで私は蓼科高校を良い学校にしましょう、そのためには皆さん一人一人の心がけ次第で、例えば、挨拶をする、自主トレーニングをする、目についたごみを拾う、など毎日一つでいいから、実践してみましょうと話しています。その積み重ねが大きな成果を生みます。目標の達成や夢の実現につながります。自分の学校に誇りがもてるようになります。

さて、一昨日の4月4日、水泳の東京オリンピック選考会で、白血病からの長期療養から復帰した池江璃花子選手が100メートルバタフライで優勝し、五輪代表を決めました。池江選手は「自分がすごくつらくしんどくても、努力は必ず報われるんだと思った」とインタビューで答えていました。

池江選手は東京オリンピック出場を目標に、今年の3月から練習をはじめ、徐々にたくましさを取り戻し、この日に焦点を当てて努力を積み重ねてきたのです。この快挙は、全国から世界に感動の輪を広げています。

自分の目標を達成するのに一番大切なこと、それは「継続」することです。

目標を持ち毎日の行動を決めたら、それを継続する。その積み重ねを私たちは大切にしていきたいと思います。すべての蓼高生にとって学校が楽しく居心地のよい場所になるように、お互いがお互いの足を引っ張り合うのではなくお互いを高めあえるような集団になるように、蓼科高校がさらにいい学校になるように、ここにいるすべての生徒が良いことを実践してくれることを願って始業式の挨拶とします。